

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式											
製造事業所名											
危険物	類別	側面		当て板	材料	材質記号					
	品名	枠	板			引張り強さ	N/m ²				
	化学名			防護	材料	材質記号					
比重	枠	板	引張り強さ			N/m ²					
タンク			断面形状	閉鎖装置	自動閉鎖装置	有・無					
	長さ	手動閉鎖装置			有・無						
	内測寸法	吐出口の位置		左右後							
	幅	レバーの位置		左右後							
の諸元	高さ	緊結装置	Uボルト	材質記号							
	最大容量			引張り強さ	N/m ²						
	タンク室の容量	箱枠	材料	材質記号							
	材料			引張り強さ	N/m ²						
波板	材質記号	消火	器	薬剤の種類							
	引張り強さ			薬剤量	kg	kg					
	板厚	器	個	個数	個	個					
	面積比			可燃性蒸気回収設備	有・無						
防波板面積 × 100 / タンク断面面積		給油設備		有(航空機・船舶)・無							
タンクの最大常用圧力	作動圧力	備考									
	有効吹き出し面積	備考									
側面枠	材質記号	備考									
	引張り強さ	備考									
	板厚	備考									
	取付角度	備考									
接地角度		備考									

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

コメント [A1]: 車体の名称及び型式・単一式、被けん引式の別及び積載式、積載式以外の別を記入
例: 単一式(積載式)、被けん引式(積載式以外)

コメント [A2]: 移動タンク貯蔵所を製造した事業所を記入

コメント [A3]: 類・品名・化学名・比重を記入
注: 2以上の品名の危険物を貯蔵するものは全て記入

コメント [A5]: 方法に応じて記入 例: 配管、緩衝継手

コメント [A4]: ・断面形状→移動タンクの移動方向に直角の断面の形状を記入例: だ円形、円形
・内測寸法→円のタンク(長径を幅、短径を高さ)として記入円形のタンク(直径を幅及び高さ)として記入・最大容量→タンク内容積から空間容積を引き容量を記入・タンク室の容量→車両の移動方向の前方から順番号を付け
・材料→共通事項による
・板厚→共通事項による

コメント [A7]: ボルトの直径・本数を記入

コメント [A6]: ・材料→共通事項による
・面積比→車両の移動方向の前方から順番号を付け、移動方向の最大断面積に対する防波板の面積の占める割合を記入(小数点第2位を四捨五入)

コメント [A9]: タンクの最大常用圧力が20kPa以下のタンクは20kPa以下とし、20kPaを超えるタンクはその数値を記入

コメント [A8]: ・薬剤の種類→種類を記入する
・薬剤量→消火薬剤の量を薬剤の種類ごとに記入
・個数→消火器の種類ごとに個数を記入

コメント [A10]: ・作動圧力は作動圧力の範囲を「○○<P ≤○○」と記入
・有効吹き出し面積は車両の移動方向の前方から順番号を付け、各室の有効吹き出し面積を記入

コメント [A11]: ・材料→前期コメント4による・取付角度→貯蔵最大数量の危険物を貯蔵した状態における当該移動タンク貯蔵所の重心点と、当該側面枠の最外側とを結ぶ直線と当該重心点から最外側線におろした垂線のなす角度を記入・接地角度→側面枠の最外側と移動タンク貯蔵所の最外側とを結ぶ直線と地盤面とのなす角度を記入